

MEGASOFT.

目 次

目 次

第1	章	はじめに	1
	1-1	システム概要	1
	1-2	動作環境と対応するデータについて	2
		1 動作環境	2
		2 対応するストレージ	2
		3 対応するデータ	3
	1-3	システムのセットアッフ	4
	1-4	ストレージドライブの準備	8
第2	章	起動と終了	9
	2-1	システムの起動	9
	2-2	メインウインドウの各部名称	10
	2-3	システムの終了	11
第3	章	設定ウィザード 1	13
	3-1	設定ウィザードの手順	13
	3-2	設定ウィザードー1台目の操作	14
	3-3	設定ウィザードー2台目の操作	19
第4	章	基本操作 2	21
第4	· 章 4-1	基本操作 2 同期項目を追加する	21 22
第4	· 章 4-1	基本操作 2 同期項目を追加する	21 22 22
第4	· 章 4-1	基本操作 2 同期項目を追加する	21 22 22 23
第4	· 章 4-1	基本操作 2 同期項目を追加する	21 22 22 23 25
第4	· 章 4-1	基本操作 2 同期項目を追加する	21 22 23 25 30
第4	· 章 4-1	基本操作 2 同期項目を追加する	21 22 23 25 30 36 37
第4	· 章 4-1 4-2	基本操作 2 同期項目を追加する… 1 1 同期項目の追加ウィザードを表示する… 2 マイドキュメントフォルダを追加する… 3 任意のフォルダを追加する 4 Outlook「メール」を追加する 5 Microsoft Outlook のアドレス帳 / 仕事 / メモを追加する 6 Cookie / お気に入りを追加する 同期項目を削除する	21 22 23 25 30 36 37 39
第4	- 章 4-1 4-2 4-3	基本操作 2 同期項目を追加する	21 22 23 25 30 36 37 39 40
第4	· 章 4-1 4-2 4-3	基本操作 2 同期項目を追加する	21 22 23 25 30 36 37 39 40 40
第4	· 章 4-1 4-2 4-3	基本操作 2 同期項目を追加する	21 22 23 25 30 36 37 39 40 40 41
第4	· 章 4-1 4-2 4-3 4-4	基本操作 2 同期項目を追加する	21 22 23 25 30 36 37 39 40 40 41 43
第4	· 章 4-1 4-2 4-3 4-4	基本操作 2 同期項目を追加する	21 22 23 25 30 36 37 39 40 40 41 43 43
第4	· 章 4-1 4-2 4-3 4-4	基本操作 2 同期項目を追加する	21 22 23 25 30 36 37 39 40 40 41 43 43 44
第 4	· 章 4-1 4-2 4-3 4-4 4-5	基本操作 2 同期項目を追加する	21 22 23 25 30 36 37 39 40 40 41 43 43 44 43 44 46
第 4	· 章 4-1 4-2 4-3 4-4 4-5	基本操作 2 同期項目を追加する 1 1 同期項目の追加ウィザードを表示する 2 マイドキュメントフォルダを追加する 3 任意のフォルダを追加する 4 Outlook「メール」を追加する 5 Microsoft Outlook のアドレス帳 / 仕事 / メモを追加する 6 Cookie / お気に入りを追加する 7 期項目を削除する 同期の設定 1 1 削除の設定 2 同期の方向 チェックする 1 1 月期を実行する 1 同期を実行する	21 22 23 25 30 36 37 39 40 40 41 43 43 44 46 46 46
第 4	· 章 4-1 4-2 4-3 4-4 4-5	基本操作 2 同期項目を追加する	21 22 23 25 30 36 37 39 40 40 41 43 43 44 46 46 49

目 次

第5章	システムの設定	51
5-1	「オプション」ウインドウの表示	51
5-2	[全般]タブ	52
	2 コンパクトモード	54
	3 ログとログファイル	55
5-3	[同期の方式]タブ	56
5-4	[同期スケジュール]タブ	57
	2 定期的な同期スケジュール	59
5-5	[フィルタ]タブ	61
5-6	ストレージデータのインポート/エクスポート	64
5-7	コンパクトモード	71
5-8	オンラインアップデート	72
	1 オンラインアップデートの設定	72
	2 オンラインアップデートの操作	74
付録		77
索引		77



ACCUSYNC(アキュシンク) ストレージをご利用いただく前の確認事項や、 セットアップの手順を説明します。

1-1 システム概要

ACCUSYNC ストレージは、ストレージを利用して、2台のコンピュータを 同じデータ環境にします。 ACCUSYNC ストレージは「同期」をより便利に安全に行うことができます。

ことぼ ストレージ

デジタル情報を記録・保存するハードディスクや光磁気ディスクドライブなどの記憶 装置のことをいいます。 本マニュアル内では、『ストレージ』と、総称で明記しています。 『このコンピュータ』と『相手のコンピュータ』 ACCUSYNC ストレージで同期を行う2台のコンピュータのうち、実際に操作を行 うコンピュータを『このコンピュータ』、他方のコンピュータを『相手のコンピュータ』と いいます。 第 1 章

第1章 はじめに

1-2 動作環境と対応するデータについて

ACCUSYNC ストレージをインストールする前に必ずご確認ください。

1 動作環境

ACCUSYNC ストレージをお使いになるコンピュータ2台で、ハードディスクやメモリの容量、通信の環境などをご確認ください。

CPU : 100MHz 以上 対応 OS : Windows XP/Me/2000/98 ハードディスク : 11MB 以上の空き容量が必要 メモリ : 64MB 以上

2 対応するストレージ

同期をとりたい2台のコンピュータの Windows で、内蔵ディスクまたはリムー バブルディスクとして認識されるものはご利用いただけます。

例:	USB フラッシュメモリ	SD ストレージカード
	CF ストレージカード	メモリースティック
	MO ディスク	フロッピーディスク
	ポータブルハードディスク	

3 対応するデータ

ACCUSYNC ストレージが対応するファイルやフォルダは次のとおり です。

- マイドキュメントフォルダ
- 任意のフォルダ
- 「お気に入り」「Cookie」
- Microsoft Outlook 「メール」「アドレス帳」「予定表」「仕事」「メモ」

Internet Explorer 5.0 / 5.5 / 6.0 に対応します。

Microsoft Outlook 2000 / 2002 に対応します。

Outlook Express には対応しておりません。





対応しています。

対応しておりません。

1-3 システムのセットアップ

●注意
この操作はACCUSYNC ストレージをご利用になる2台のコンピュータ双方で行ってください。

- ダウンロードが完了したファイルをダブルクリックしてください。 ACCUSYNC ストレージのセットアップ画面が起動し、「ACCUSYNC ストレージ Setup」ウインドウが表示されます。
- **2** ウインドウの内容を確認して、[次へ]ボタンをクリックします。 「使用許諾契約」が表示されます。



3 「使用許諾契約書」の内容を確認して、[はい]ボタンをクリックします。 「ユーザー情報の入力」が表示されます。



4 ユーザー情報を入力して、[次へ]ボタンをクリックします。 「試用版」としてインストールする場合は、ライセンスキーは入力せず、[次へ]ボタンをクリックします。

1	
ユーザー& 後日& H2D#205/15-3キー#X.N.C.DF-WRC#20-01.COEA-5 ユーザー和MF 【2-第3月】 (HE-80第121-3EAD-T)258-5	- 入力します。
STERNAL STERNARD ALTRANSMENTER.	

5 インストール先を確認して、[次へ]ボタンをクリックします。 インストール先を変更したいときは[参照]ボタンをクリックして、表示される 「フォルダの選択」ウインドウで変更してください。

CALLANDER CAL-ANDER SANTTHERMON-AT INSPEED, DUINS	
547412.0054074.00000.201-0.600-0.447. 20140-010-02.0-02.05000.27. 30140-010-0258.02.06022555.7147589.71255.	
(201-siteStraff Urfragen FloorMCORSHIC3D1=-2	 確認して、変更したいときは ー [参照]ボタンをクリックして

6 オンラインアップデートの設定を行います。

[定期的に自動チェックする]を選択して、自動チェックの間隔をリストから 選択し、[接続方法設定]ボタンをクリックます。



第1章 はじめに

Memo

[自動チェック間隔]で設定された間隔で、アップロードを行う必要があるかをチェックし、必要があればアップデートを実行します。ご使用のACCUSYNC ストレージ が最新の状態であれば、アップデートは行いません。

オンラインアップデートのためのインターネットの接続方法を設定します。 いずれかを選択して、[設定]ボタンをクリックします。

#HEATA	1 MAR			
2.49	P-8-+20	3792-200	1. 但21世	WF & D D ##0
1000		120		92.J
1000	1475700	eraire	0	
2223				
	12-1-1-1-1	TIL	ha i	8-4:
		-		

元の画面に戻り、[設定]ボタンをクリックします。

シンディードを出着 多数です。シット RODULTIEON モニアード	またの事がなんます。 クリフテードを起動するい ロフバニューロジオンオイ ト	Brote-+	
BRTARSO:	ineu	8m118.400	ŀ

オンラインアップデートについて

ACCUSYNC ストレージには、プログラムの機能追加や問題解消のためのオン ラインアップデート(インターネットを利用したプログラム更新)機能が搭載されて います。

ACCUSYNC ストレージを最良の状態でご利用いただくために、オンラインアップ デートをぜひご活用ください。

オンラインアップデートを自動的に行いたくないときは、「自動チェックしない」を 選択してください。

オンラインアップデートの設定は、メニューの[ヘルプ] [オンラインアップデートの 設定]の順に選択しても行うことができます。

オンラインアップデートの設定と操作については、「5-8 オンラインアップデート (P72)」をご参照ください。 7 次の画面が表示されたら、セットアップの操作は終了です。 [完了]ボタンをクリックしてください。



READMEが表示されます。内容を確認して、ウインドウを閉じてください。



8 セットアップ完了後、次のようなメッセージが表示される場合があります。 その場合は、[はい]ボタンをクリックして、コンピュータを再起動してください。



以上でセットアップが完了です。

セットアップが完了すると、ACCUSYNC ストレージはスタートメニューに組み込ま れます。 **9** もう1台のコンピュータでも同じようにセットアップを行ってください。



1-4 ストレージドライブの準備

ACCUSYNC ストレージをご使用になる2台のコンピュータ双方で、お使い になるストレージのドライブが準備できていることを確認します。 ACCUSYNC ストレージで使用するために新しいドライブを追加するときは、 お使いになるストレージの説明書をご参照のうえ、2台のマシンで設定を行って 〈ださい。

また、準備ができたら、同期を行う2台のコンピュータそれぞれで、必ずファ イルのコピー、削除ができることをご確認ください。



本章では、システムの起動と終了の操作を説明します。

2-1 システムの起動

ACCUSYNC ストレージは、Windows のスタートメニューから起動できます。

また、デスクトップなどにショートカットアイコンをコピーした場合は、ショート カットアイコンをダブルクリックしても起動することができます。



.............

2-2 メインウインドウの各部名称

ACCUSYNC ストレージを起動して表示されるメインウインドウの各部名称 は次のとおりです。

メニューバー コンパクトモードボタン _ タイトルバー - ウインドウ操作ボタン 497H 0 0 00 6 「メインボタン」ウインドウ ACARPE. 調査化すう 211-5 Single a 12 「ステータス」ウインドウ Desting 生命にたいトレージが以来されています 111-4 00 「同期の設定」ウインドウ \Leftrightarrow 創設可用的時間に目10年00日 第1月21年にの月10日10年6月 次回時期 予定は約18月4 × This WEST-ALL 「日本学家など 101.42-5 「次回同期するアイテム」 28-60 127 ウインドウ D 00/06/05110941 ACOLONIC/050284(2512) D 00/06/05110941 ACOLONIC/1-5/LC 112 D 00/06/05110941 00/1-5/LC Mindows 2000 Berring Fach 3 「ログ」ウインドウ

2-3 システムの終了

「ACCUSYNC ストレージ」ウインドウの[ファイル] [ACCUSYNCの 終了]の順に選択して終了します。



Memo :



本章では、ACCUSYNC ストレージでご使用になるストレージを設定する操作を説明します。

3-1 設定ウィザードの手順

第3章

設定ウィザードではACCUSYNC ストレージでご使用になるストレージの設 定を行います。必ずお使いになる2台のコンピュータでの設定が必要です。 次の手順でストレージの設定を行ってください。



第3章 設定ウィザード

3-2 設定ウィザードー1台目の操作

1台目のコンピュータでストレージの設定を行います。

- **1** ストレージをセットして、ACCUSYNC ストレージを起動します。
- **2** メニューの[ツール] [設定ウィザード]の順に選択して、「設定ウィザード」 ウインドウを起動してください。
- 3 次の画面が表示されます。ご使用になるストレージをコンピュータにセットして、[次へ]ボタンをクリックします。



4 次のように画面が切り替わり、お使いのコンピュータで使用できるボリュームが一覧で表示されます。 使用したいボリュームを選択して[次へ]ボタンをクリックします。

使用したいボリュームを 選択する

11111121

RME

ByUES .

14

5 ストレージにコンピュータを登録します。 [新規登録(1台目のコンピュータ)]が選択されていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。



Memo ACCUSYNC ストレージでご使用になったことのあるストレージをコンピュータに セットした場合は、次のようなメッセージが表示されます。 再設定を行う場合は[はい]をクリックしてください。 再設定をしない場合は、[いいえ]をクリックしてください。



.....

6 ストレージ内に「ACCUSYNC」フォルダが作成されます。

ここのでは、ACCUSYNC」フォルダには、ACCUSYNC ストレージで同期を行うのに必要な情報が保存されます。
削除すると同期できなくなりますので、ご注意ください。

- 7 次のように画面が切り替わります。

 「同期項目の設定ウィザード」で同期項目を追加します。
 詳細な操作の方法は「4-1 同期項目を追加する(P22)」をご参照くだ
 さい。
- 8 続けて他の同期項目を追加したいときは[追加]にチェックをつけて[次へ] ボタンをクリックします。

同期項目の追加を終了して次の設定へ進むときは[完了]にチェックをつけて[次へ]ボタンをクリックします。



次のように画面が切り替わります。
 同期の方向を設定します。
 詳細な内容については「4-3 2 同期の方向(P41)」をご参照〈ださい。
 同期の方向は、ストレージに記録されます。



10次のように画面が切り替わります。

「削除」の設定をします。

詳細な内容については「4-3 1 削除の設定(P40)」をご参照ください。 削除の設定は、ストレージに記録されます。



11次のように画面が切り替わります。 [完了]ボタンをクリックしてください。



12 チェック、同期を行います。

チェックと同期の操作については「4-4 チェックする(P43)」「4-5 同期の 実行(P46)」をそれぞれご参照ください。

設定のみを行いたいときはチェック、同期を行う必要はありません。

13以上で、1台目のコンピュータでの設定ができました。 ストレージを取り出し、2台目のコンピュータで設定を行ってください。

3-3 設定ウィザードー2台目の操作

2台目のコンピュータでストレージの設定を行います。 以下の手順で設定してください。

- 1台目のコンピュータで設定を行ったストレージを、2台目のコンピュータに セットして、ACCUSYNC ストレージを起動します。
- 2 メニューの[ツール] [設定ウィザード]の順に選択して、「設定ウィザード」 ウインドウを起動してください。
- 3 コンピュータにストレージがセットされていることを確認して、[次へ]ボタン をクリックします。



4 次のように画面が切り替わります。 ご使用になるボリュームを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

17127-1-9P	the second s	.83	
1	Constanting - Company		
7	- 10 m) - 10 m		ご使用になるストレージを 選択します。
\leq			
		-	
	(Bug (208)	Hota	

5 次のように画面が切り替わります。 [2台目のコンピュータを登録]が選択されていることを確認し、ボタンを クリックします。



6 次のように画面が切り替わります。 [完了]ボタンをクリックします。



チェック、同期を行います。
 チェックと同期の操作については「4-4 チェックする(P43)」「4-5 同期の
 実行(P46)」をそれぞれご参照ください。

設定のみを行いたいときはチェック、同期を行う必要はありません。

8 以上で、2台目のコンピュータでの設定も完了しました。



ACCUSYNC ストレージ画面での基本操作を説明します。

ことば

同期する

一方のコンピュータで行われたデータの編集(ファイルの作成、編集、削除など)を 他方のパソコンに反映することを「同期する」といいます。 「項目」と「アイテム」

「メール」や「お気に入り」、「フォルダ」など同期するデータの種類を「項目」、一通のメールや1つのファイルを「アイテム」といいます。

第4章

4-1 同期項目を追加する

同期項目の追加は、ACCUSYNC ストレージをご使用になる2台のコン ピュータで行う必要があります。

手順が追加する同期項目により、多少異なりますのでご注意ください。

Memo 同期項目には、フィルタ機能により同期の対象に条件を付加することができます。

フィルタ機能については、「5-5 [フィルタ]タブ(P61)」をご参照ください。

.....

1 同期項目の追加ウィザードを表示する

新しい同期項目を追加するために、「同期項目の追加ウィザード」を表示します。

(注意)
同期項目は、2台のコンピュータのうちどちらからでも設定することができますが、
同期項目によっては、2台目のコンピュータでも設定が必要な場合があります。

.....

1 「メインボタン」ウインドウの[項目を追加]ボタンをクリックします。 「同期項目の追加ウィザード」が起動します。



Memo

次の操作でも「同期項目の追加ウィザード」を起動することができます。

 「次回同期するアイテム」ウインドウの[追加するにはここをクリックしてください] をクリックする。

- すでに登録されている同期項目の上で右クリックし、表示されたメニューから [項目を追加する]を選択する。
- [ツール]メニューから[項目の追加]を選択する。

.....

2 マイドキュメントフォルダを追加する

1「同期項目の追加ウィザード」で、[マイドキュメント]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。

セットしているストレージで、すでに同期項目として登録されている項目は このウィザードには表示されません。



2 次のような画面が表示されます。 いずれかを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



Memo 「"ACCUSYNCフォルダ"を作成し、その中だけを同期」を選択した場合は、マイ ドキュメントフォルダの中に「ACCUSYNCフォルダ」という名前のフォルダを作成し、 そのフォルダを同期項目とします。 "ACCUSYNCフォルダ"を 作成し、その中だけを同期する 10181 10 480 **** 自我起入() 9-16D AA789 10 -- U Que Unit U U U H THE OTHER DESIGN - ette 100* -10.00 -ACOUNT N Nr Bioka His Pictures マイドキュメント ADDISTNO 74.69 211A 3458 RINUM 2002/10/01 1017 AD1 (2.1) 目の北正化かりま 1-80121331688

3 次のような画面が表示されます。 内容を確認して、[完了]ボタンをクリックします。以上で項目追加の操作は 終了です。

10103-0102-0-0	A DESCRIPTION OF TAXABLE PARTY OF TAXABLE PARTY.	,83
	ADMINE OF ISLAMP	
5	111428	
Y		
	(RIG TT)	miete j

Memo マイドキュメントフォルダは2台目のコンピュータでの設定は不要です。

3 任意のフォルダを追加する

任意のフォルダを追加する場合は、1台目のコンピュータとストレージ間、 ストレージと2台目のコンピュータ間でそれぞれ設定が必要です。



1台目のコンピュータでの設定

1台目のコンピュータとストレージ間でフォルダの設定を行います。

1 「同期項目の追加ウィザード」で、[フォルダ]をクリックし、[次へ]ボタンを クリックします。 セットしているストレージで、すでに同期項目として登録されている項目は

このウィザードには表示されません。



2 次のような画面が表示されます。 コンピュータ内の同期をとりたいフォルダを指定し、[次へ]ボタンをクリック します。

[参照]ボタンをクリックすると、「フォルダの参照」ウインドウが表示されます。

フォルダ名をキー入力することもできます。

フォルダ名をキー入力するときは、ドライブ名からのフルパスを正しく 入力してください。

-	RESISTERATION OF CONTRACTORS	
5		
X	tus-dalittest 	
	- Ming +	

3 ストレージのフォルダを指定します。 「【ストレージ】の同期フォルダ」欄の[参照]ボタンをクリックします。 「フォルダの参照」ウインドウが表示されます。



4 「フォルダの参照」ウインドウで[追加]ボタンをクリックします。 「新しいフォルダ」が追加されます。



5 新しく追加されたフォルダ(新しいフォルダ)の名前を変更し、[OK]ボタンを クリックします。

そのままのフォルダ名(新しいフォルダ)でも構いません。

2142088	11 M	214.5084	. E (8)
List-Desidents a Parage Tublic		List-Dustanteenteitette. Dutette	
	→		
			ette
任音のフォルダキたけOutlook	のメールで		
は思いフォルフェにはOutloor	(の) かし、	Actorie 191-1	<u></u>
9 しに作成したノイルタと同し	ノイルタ石を		BREAMAND.CODIN
ハ月すると、八のようなメッセ・ わます	ーンが夜小さ	(or)	
れより。 小のフェルダタに赤玉レズ/さ	×+1 \		
他のノオルダ名に変更してくた	2010		
 Memo ストレージ内の 名前を変更する 名前を変更したいフォルク)フォルダの約 ダを選択し、さ	高集 らにフォルダ名の部分をi	選択して
フォルダ名を再入力しまで	アを送いて、とう す。		
フォルダを削除する			
削除したいフォルダを選打	沢して、[削除]フ	ボタンをクリックします。	

6 次のような画面が表示されます。 内容を確認して、[完了]ボタンをクリックします。



以上で、1台目のコンピュータでの設定は終了です。



2台目のコンピュータでの設定

ストレージと2台目のコンピュータの間で、フォルダの関連付けを行います。

- ストレージをセットして、ACCUSYNC ストレージを起動します。
 ACCUSYNCメインウインドウの「次回同期するアイテム」欄に、ストレージ内に設定されている同期項目が一覧表示されます。
- **2** 関連付けされていない任意フォルダのチェックボックスをクリックします。 「設定ウィザード」が表示されます。



3 「設定ウィザード」で、2台目のコンピュータのフォルダを指定し、[次へ]ボタンをクリックします。



4 次の画面に切り替わります。 内容を確認して、[完了]ボタンをクリックします。



ACCUSYNCメインウインドウの「次回同期するアイテム」欄に設定した フォルダ名が表示され、チェックボックスがONになります。

1		N-1991-O	181
ンカロ同期するアイテム			
このコンピュータ	26-	削除	;
🖸 🔁 フォルタ - 0¥D	0	0	

以上で任意フォルダの設定が完了しました。

4 Outlook「メール」を追加する

この操作はご使用のコンピュータが Microsoft Outlook でメールの送受信ができる 環境にある場合のみ、操作できます。

メールフォルダは、メールフォルダを指定して同期を行う方法と、すべての Outlook フォルダを同期する方法があります。

メールフォルダを指定して同期を行う場合は、1台目のコンピュータで設定を 行ったあと、2台目のコンピュータでも設定を行う必要があります。

1台目のコンピュータでの設定

1 「同期項目の追加ウィザード」で、[メール]をクリックして、[次へ]ボタンを クリックします。

セットしているストレージで、すでに同期項目として登録されている項目は このウィザードには表示されません。



2 次のような画面が表示されます。 いずれかを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

[すべてのOutlookメールフォルダを同期]を選択したときは、**6**の操作へ進みます。



3 「メールフォルダを選択して同期」を選択した場合は、次のような画面が表示されます。

同期をとりたいメールフォルダを指定して、[次へ]ボタンをクリックします。 (下図は受信トレイを選択した状態です。)



「+」マークのフォルダは下位にフォルダがあります。 クリックすると下位のフォルダが表示されます。 **4** 「メールフォルダを選択して同期」を選択した場合のみ行う操作です。

ストレージに指定したメールフォルダに対応するフォルダを追加します。 [追加]ボタンをクリックします。



5 「メールフォルダを選択して同期」を選択した場合のみ行う操作です。

次のように画面が切り替わり、「新しいフォルダ」が追加されます。 必要があれば、フォルダの名前を変更して、[次へ]ボタンをクリックします。





ます。同期の操作については「4-5 同期の実行(P46)」をご参照ください。 ・「メールフォルダを指定して同期」を選択したときは、「2台目のコンピュータ」で 対応するメールフォルダを指定する必要があります。

33
2台目のコンピュータでの設定

1台目のコンピュータで、「メールフォルダを指定して同期」を選択したときに、 2台目のコンピュータでの設定の操作を説明します。

「すべての Outlook メールフォルダを同期」を選択したときは、この操作は 必要ありません。

- ストレージをセットして、ACCUSYNC ストレージを起動します。
 ACCUSYNCメインウインドウの「次回同期するアイテム」欄に、ストレージ内の設定されている同期項目が一覧表示されます。
- **2** 関連付けされていないメールフォルダのチェックボックスをクリックします。 「設定ウィザード」が表示されます。



3 「設定ウィザード」で、2台目のコンピュータのメールフォルダを指定し、 [次へ]ボタンをクリックします。



4 次のような画面に切り替わります。 内容を確認して、[完了]ボタンをクリックします。



ACCUSYNCメインウインドウの「次回同期するアイテム」欄に設定したメールフォルダ名が表示され、チェックボックスがONになります。

	Pare O	191
-30	前服金	3
0	0	
	<u>コピー</u> 0	日本日本 日本日本 日本日本 日本日本 日本日本 日本日本 日本 日本 日本 日

以上で、「メールフォルダを指定して同期」を選択したときの、2台目のコン ピュータでの設定が完了しました。

5 Microsoft Out lookのアドレス帳 / 仕事 / メモを追加する

1 「同期項目の追加ウィザード」で、追加したい項目をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。(ここでは「アドレス帳」を追加する場合の画面で説明しています。)

すでに同期項目として登録されている項目はこのウィザードには表示され ません。



2 次のような画面が表示されます。 内容を確認して、[完了]ボタンをクリックします。以上で項目追加の操作は 終了です。



Memo

Microsoft Outlookのアドレス帳/仕事/メモは2台目のコンピュータでの設定は不要です。

.....

6 Cookie / お気に入りを追加する

1 「同期項目の追加ウィザード」で、追加したい項目をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。

(ここでは「Cookie」を追加する場合の画面で説明しています。)

すでに同期項目として登録されている項目はこのウィザードには表示され ません。



2 次のような画面が表示されます。(下図はCookieを選択した時の例です。) 内容を確認して、[完了]ボタンをクリックします。以上で項目追加の操作は 終了です。



Memo Cookie / お気に入りは、2台目のコンピュータでの設定は不要です。 Memo 「次回同期するアイテム」ウインドウのサイズ変更 登録された同期項目は「次回同期するアイテム」ウインドウに表示されます。 「次回同期するアイテム」ウインドウの下(「ログ」ウインドウとの境界)で、マウス ポインタの形状が両矢印の状態でドラッグすると、大きさを変更できます。

ALL CITY	2-	APR	千度	-	36-	104	十二	相关的工作1-1
Cosk in	1	1.	. 0	.00	10.0	1	10	Daokie
目 〇 アダルス県	- 6 -	ΰ.	0	-	a	1	- B	0 7FLOM
夏日 マイドリエルント	1.1		Ú.	- 444		1	.0	1 TH 1941501-A
2 3 74168 - GAD.	1	1	0	- 4+4		1	0	27255 - O4Dona
12 3-5-More	1	1	: 0	-		1	1	Store Manual .
ARTEN ACTACONS.								

上下にドラッグします。



4-2 同期項目を削除する

同期項目削除の操作は一方のコンピュータで行うと、他方のコンピュータに も反映されます。

1 「次回同期するアイテム」ウインドウで削除したい同期項目の上で右クリックし、表示されたメニューから[この項目を削除]をクリックします。



2 確認メッセージが表示されます。 [OK]ボタンをクリックしてください。 以上で、同期項目削除の操作は終了です。





4-3 同期の設定

ここでは同期の設定として、次に行うチェックや同期の「削除」と「方向」を 設定します。

1 削除の設定

一方で前回同期後に削除されたアイテムがあったときの処理の仕方を設定 します。

一方で前回同期後に削除されたアイテムがあった場合に同期をとるには、 残っている側のアイテムを削除する方法と、残っている側のアイテムを他方に コピーする方法が考えられます。

「削除しない」に設定すると、前回同期後に削除されたファイルを他方から コピーします。

「削除する」に設定すると、前回同期後に削除されたファイルを残っている側 で削除します。

注意

セットアップ後や同期項目を追加した直後に初めて行う同期で、「削除する」に設定している場合は、前回同期したときの情報がないため、アイテムを削除しません。 詳細はP48の(Memo)欄をご参照ください。

1 「接続方法と同期の設定」ウインドウで[削除の同期]ボタンをクリックします。「削除しない」/「削除する」がクリックするたびに切り替わります。



2 同期の方向

同期をとる方向には次の3つがあり、同期をとる方向を設定します。

双方向
 お互いのコンピュータの状態に合わせて同期をとります。
 双方で別々に編集されたアイテムがあった場合は、「矛盾」と判断されます。

- こちらから
 "このコンピュータ』の状態に"相手のコンピュータ」をあわせるように、
 アイテムをコピー・削除します。
- あちらから
 『相手のコンピュータ』の状態に『このコンピュータ』をあわせるように、
 アイテムをコピー・削除します。

注意

同期をとる方向を変更すると、前回同期時の情報が削除されてしまいます。そのため、変更後と変更前を比べて削除されているファイルがあっても削除されません。 詳細はP48の(Memo)欄をご参照ください。

1 「接続方法と同期の設定」ウインドウで[同期の方向]ボタンをクリックします。

クリックするたびに 「双方向」/「こちらから」/「あちらから」の順に切り 替わります。



第4章 基本操作

Memo

ファイルが同じ状態で同期を行っても、「削除」と「方向」の設定に よってそれぞれ結果が異なってしまいます。 下図を参照して正しく理解し、誤ってファイルを削除してしまわない ように注意してください。

前回の同期終了時の状態 から、それぞれのコンピュータで 今回同期直前の状態 ヘファイルを削除したあとのファイルの 動きを図にしています。

図中→ はコピーの向きを表し、×は削除を表しています。





今回同期直前の状態





片方で削除されたアイテムを もう一方で削除せず、片方で 追加・更新されたアイテムを コピーします。



片方で削除されたアイテム をもう一方でも削除し、片方 で追加・更新されたアイテム をもう一方にコピーします。



片方で削除されたアイテムをもう 一方で削除せず、こちら側にあっ て相手にないアイテムをコピーし ます。

削除 : する 方向 : こちらから ^{このコンピュータ} ^{相手のコンピュータ} B C C

こちら側で削除したアイテムを 相手側でも削除し、こちらに あって相手にないアイテムをコ ピーします。



片方で削除されたアイテムをもう 一方で削除せず、相手側にあっ てこちら側にないアイテムをコピ ーします。



相手側で削除したアイテムをこちら側でも削除し、相手側に あってこちら側にないアイテムを コピーします。

4-4 チェックする

設定されている同期項目について、同期の設定に従ってパソコンとストレージの間で状況をチェックし、その結果を「同期の設定」ウインドウに表示します。

1 チェックする

1 「メインボタン」ウインドウの[チェック]ボタンをクリックします。 チェック結果が「次回同期するアイテム」ウインドウに表示されます。



チェックした結果、「次回同期するアイテム」ウインドウに双方のコンピュー タで同期をとる必要があるアイテムの数がそれぞれ表示されます。

🛛 🗋 🖓 FREESCH 1 0 1 🗰 1 0 1 🛄 🖓	
	「ドキュメントー」
illian facilitza (2009). *	

- コピー 同期をとるためにコピーを実行する必要のあるアイテムの数
- 削除 同期をとるために削除する必要があるアイテムの数
- 矛盾 双方で編集されているため、コピー / 削除とも判断できないアイテムの数

Memo

チェックの結果、同期する必要のあるアイテムが 見つからなかったときはメッセージが表示されます。 [OK]ボタンをクリックしてください。



2 チェック結果アイテムごとの設定変更

チェックの結果、同期の対象になったアイテムごとに同期の設定を変更することができます。

- 1 「次回同期するアイテム」ウインドウのチェック結果(コピー、削除、矛盾)の数字をクリックします。 ウインドウが表示され、同期項目に含まれる同期対象のアイテムが一覧表示されます。(下図は「矛盾」の場合の表示例です。)
- **2** 同期の設定を変更したいときは、アイテムを選択して、ウインドウの下の ボタンをクリックします。
- 3 [決定]ボタンをクリックします。 設定した内容に同期の設定が変更されました。

2	A COMPLETE MACONICES MARKED AND MARKED AND	NO. HANDENGLOP (7) PRODUCT, MARKAN PRODUCT, MARKAN RELEASED, CODES	1000 NTCLA4TTO - NUNBSHLEFA D	t#.	
8	8# 22014	「推动 TYL TALLOP	REPACE 2.41-9	▼●日時時半61.41-50 日月1日日 ●●日日日 ●●	ー アイテムを 選択します
		terrary 1 may terrary	and increase	6400.54	

変更したい内容のボタンをクリックします。



Memo) 一時的に同期項目からはずす / もどす

同期項目から削除せずに、一時的に同期の対象からはずし、また同期の対象に 戻すことができます。

「次回同期するアイテム」ウインドウで一時的に同期の対象からはずしたい/同期 の対象に戻したい同期項目の前のチェックボックスをクリックします。

- チェックがついていると、同期の対象になります。

	気局的するアイテム	_				_			
	このコンピュータ	36-	R SR	矛盾		- 'YC	REA	矛盾	相手のエンピュータ
	2 😂 74 1951XUN.	0	0	0		0	0	0	ڬ 74 k#ax0k - A.
	🗍 🚞 7#11-5 - CND	Û	0	Û	ŧ	Û	0	Û	🛅 7#11/5 - C#Decu.
3	助するにはここをクリット								

.....

└─ チェックがついていないと、同期の対象外です。

4-5 同期の実行

同期の実行と同期の中断の操作を説明します。

それぞれ「メインボタン」ウインドウのボタンで操作します。



1 同期を実行する

1 「メインボタン」ウインドウの[同期]ボタンをクリックします。 同期が実行されます。 同期が終了すると、次のようなメッセージが表示されます。 [OK]ボタンをクリックしてください。



下記のような場合などに、次のメッセージが表示される場合があります。

- 同期の方向を変更して同期を実行したとき
- 「削除しない」設定で同期を実行したとき

[OK]ボタンをクリックして、もう一度1台目のコンピュータから同期の操作 を行ってください。



 Memo 同期の方向と2台のコンピュータで同期を行うための手順
 2台のコンピュータの間で同期を行う場合には、設定した同期の方向により、それ ぞれ次の手順で同期を行ってください。
 また、1度にストレージに同期したいデータが入らなかった場合は、この手順を繰り 返すことで、残りのデータを同期することができます。
 こちらから

 「このコンピュータ』と「ストレージ』の間で同期を実行する。
 「ストレージ』と「相手のコンピュータ」の間で同期を実行する。



あちらから

[®]相手のコンピュータ』と『ストレージ』の間で同期を実行する。 『ストレージ』と『このコンピュータ』の間で同期を実行する。



双方向

『このコンピュータ』と『ストレージ』の間で同期を実行する。
『ストレージ』と『相手のコンピュータ』の間で同期を実行する。
このとき、同時に『相手のコンピュータ』の最新の状態が『ストレージ』
に記録されます。

『ストレージ』と『このコンピュータ』間で同期を実行する。



注意 初めて行う同期について

セットアップ後や同期項目を追加した直後などに、初めて行う同期では、「削除する」に設定している場合でも、アイテムを削除しません。

これは、前回同期した情報がないため、ACCUSYNC ストレージがアイテムを削除してよいのか判断ができないからです。

下図のように、『このコンピュータ』でアイテムAを削除したあとで、同期の方向を 「こちらから」または「双方向」、「削除する」に設定し同期を実行すると、通常は『相 手のコンピュータ』のアイテムAが削除されますが、初回に限り、アイテムAはコピー されます。



初めて行う同期で削除したいアイテムがある場合は、次の手順で操作してください。

- 1 チェックをします。(「4-41 チェックする(P43)」参照)
- 2 「次回同期するアイテム」ウインドウで削除する予定のアイテムの「コピー」の 数字をクリックします。



3 「コピーするアイテム」ウインドウで「削除の同期」に変更します。
 (「4-42 チェック結果アイテムごとの設定変更(P44)」参照)
 4 同期を実行します。(「4-5 同期を実行する(P46)」参照)

.....

- 2 同期を途中で中止する
 - 1 同期実行中に「メインボタン」ウインドウの[中止]ボタンをクリックします。 同期が中止され、次のようなメッセージが表示されます。 [OK]ボタンをクリックしてください。



4-6 同期したアイテムを復元する

同期を実行する前の状態に復元します。



1 「メインボタン」ウインドウの[復元]ボタンをクリックします。 「同期前の状態に復元」ウインドウが表示されます。

S ACOUSY	40							. I I X
7P-(11)E)	表示(1) ワール	$\oplus \sim$	ブ119		\frown			
2	•	9	0	8		1	Ŷ	۲
RECUSION	項目の適加	9190	同期		御元	0 2	オプション	MEGASOFE

2 「同期前の状態に復元」ウインドウで内容を確認して、[開始]ボタンをクリックします。

Mar.

3 次のようなメッセージが表示されます。 [OK]ボタンをクリックしてください。

ADOLEYN	×
٢	現元が売りしました。
	OK



本章では、ACCUSYNC ストレージをご利用いただくための各種設定機能 を説明します。

5-1 「オプション」ウインドウの表示

各種設定機能は「メインボタン」ウインドウの[オプション]ボタンをクリックします。

「オプション」ウインドウが表示されます。

それぞれのタブで各種設定を行うことができます。

本章ではタブごとに設定内容を説明します。



第5章

5-2 [全般]タブ

[全般]タブでは、ACCUSYNC ストレージの動作状態などを設定します。 それぞれクリックして、チェックのON/OFFを切り替えてください。



1 全般



Windows の起動時にACCUSYNC ストレージを実行する

- ☑(ON): Windows 起動時にACCUSYNC ストレージを起動して、同期 を実行します。
- □(OFF): Windows 起動時にACCUSYNC ストレージを起動しません。

起動時にウインドウを表示しない

□(OFF):ACCUSYNC ストレージを起動したときに、ACCUSYNC ス トレージのメインウインドウを表示します。 常にバックグラウンドで実行する

- □(OFF):[閉じる]ボタンをクリックすると、ACCUSYNC ストレージが 終了します。

同期中に必ずウインドウを表示する

- □(OFF):設定によって、ACCUSYNC ストレージのメインウインドウを 表示しないときがあります。

復元用にアイテムをバックアップする

- □(OFF):復元用にバックアップファイルを作成しません。 (復元機能が無効になりますが、コンピュータの負担が軽くなり、処理が早く

なります。一時的に設定することで効率よ〈処理することができます。)

2 コンパクトモード

コンパクトモードに関する設定を行います。

コンパクトモードについては「5-7 コンパクトモード(P71)」をご参照ください。

コンパクトモード	
□ エノパクトモードで表示する	-
□ 常に手前に表示する	

コンパクトモードで表示する

常に手前に表示する

3 ログとログファイル

ACCUSYNC ストレージで行った同期の記録はログとして記録されています。

ログ(動作記録)についての設定を行います。

ログファイル	_
▶ ログを保存する	
フォルダ C-WMy Documents 1	M97
ログファイルの両作成 C 毎日 C 毎月	
OK ++2-1211 3	明色

ログファイルを保存する

フォルダ

ログファイルの保存先を指定します。 (ログファイルに保存する設定のときのみ有効) [参照]ボタンをクリックしてフォルダを変更することができます。

ログファイルの再作成 新しいログファイルを作成するタイミングを設定します。

Memo

ログファイルの内容は「メインボタン」ウインドウの[ログ]ボタンをクリックし、ファイ ル単位に参照できます。

.....

5-3 [同期の方式]タブ

同期の方向と削除の同期に関する設定を行います。

ここでの設定内容はACCUSYNC ストレージのメインウインドウのボタンでの操作と同じです。

詳しくは「4-3 同期の設定(P40)」を参照してください。

17 121m	PERPENDICUT:	Contraction of the
C 28585		\leftrightarrow
C 85660		75763a
A DECEM		
热热 日	TT GARBANS	THE .
C 84892	and and all all all all all all all all all al	Contract of
W BIHAN		
		and a second second

5-4 [同期スケジュール]タブ

同期を行うタイミングなどを設定します。



1 自動同期

それぞれクリックして ON / OFF を切り替えて設定します。

Memo

同様の設定は「接続方法と同期の設定」ウインドウのボタンでも行えます。



ACCUSYNC ストレージの起動時に、自動的に同期を開始する ✓(ON):ACCUSYNC ストレージを起動するとそのタイミングで同期を 行います。

□(OFF):ACCUSYNC ストレージ起動時には同期は行いません。

リアルタイムにチェックする

- □(OFF):常時チェックを行いません。

リアルタイムに同期を開始する(常時チェックを行う設定のときのみ有効)

☑(ON):常時同期を行います。

□(OFF):常時チェックのみで、同期は行いません。

2 定期的な同期スケジュール

毎週月曜日、毎日午後3時など、定期的に同期を行うためのスケジュールを 登録します。

1 [定期タスクの設定]ボタンをクリックします。 「定期タスクの設定」ウインドウが表示されます。

		1
統方法 米統	MARAN MARANS	-14 [2435]
EINAINA 1° ACOUS 17 UPIEN 1° UPIEN	nicomente mantero 1827:1-1775 1227:Robbolts	
ENINGER	2992-4	
Wednesdor Littar v Dir Accounting Wednesdor Brittario v	12/02/02/21-7日14日を(1998)。6 17-92-92 1748日時にていないが加てた。日 14「三月152/0548日」を2010	C. IERAICHARA MILLEHICEAN COLOSIN COLOSIN
Wednesd Life A. 200 ADALTER WEDTLAT	12010-91986世紀9988。 1798年。 「Maller」たいないが第三で、音 ら 「正明からから秋田」をかった	C. ERINGHAN MILABALSHAS COLORN ERINGHAS

2 新しいスケジュールを作成するときは、[新規]ボタンをクリックして、スケ ジュールを設定します。

2092-8		スケシ スケシ 設定し	シュールを シます。
803903593-94() 803903593-94()	eanin		<u>기</u> 의 도
		RAU RAU	
P (0)(212-068)(75	U Cox		
		デ 検知60552-06表示すいひ 	- Protes

Memo スケジュールが1件のみの場合は 表示を切り替えられます。	And
	Statistic-et Matter Dat z] [
クリックしてチェックの ON / OFF で表示を切り ――― 替えられます。	C MRIOTT, 3547953

3 スケジュールを削除するときは、「」ボタンをクリックし削除したいスケジュールを表示して、[削除]ボタンをクリックします。

0.0003994-	-110) 100	64401(T)-		
3#(0		00	- inst	\$W.
\$2,582,571	-4 日華位)-			
GIME	1 +	Bat	10	

Memo

お使いのパソコンの環境により、次のようなウインドウが表示される場合があります。

.....

お使いの環境のアカウントとパスワード をそれぞれ入力し、[OK]ボタンをクリック してください。

Contract of the local division of the local	11.0
「自然」を行うためではないです。	
1003-40gs	
1537-83822入力によ	
08 1	ROBE

5-5 [フィルタ]タブ

同期の対象とするアイテムの条件を追加します。

1790	TIN
補助力士 金献 単純化力力 同則スクジュール - 7452	
	10%s
P 2/3588116875	<u>フ</u> ィルタ機能を使用しないときは
(2124 2169	(OFF)にします。
大山 山山 アドレス様 東新日崎村 新国市町加速車 大田 丸山 メモ 東新日崎村 後後7日以内 メモ 東朝日崎村 後後7日以内 メモ 日崎芋 漫会7日以内	
	」 フィルタ機能を利用できる同期項 目が、一覧で表示されます。
2.165	
0K 495/24	00/015

フィルタの設定操作は次のとおりです。

1 「フィルタ機能を使用する」が
○(ON)になっていることを確認してから、 フィルタを設定したい同期項目を選択し、[設定]ボタンをクリックします。 「同期項目のプロパティ」ウインドウが表示されます。



2 フィルタを設定して [OK]ボタンをクリックします。 (下図は「仕事」のフィルタ画面です。同期項目により設定できるフィルタ が異なり、「同期項目のプロパティ」ウインドウの内容も異なります。)

金融 241月				
	するアイクムを統つ) のアイナムがある場 叫です。	ANDY Pr	の何期にお	400/00-5-18-5
C ±1	07-(74)11同時す	5		
r ##	てのアイテムだけ国	Mirs.		
17 JUT	の高井もみたすド	72,5170	1975	
10	18 • # F	+204	2 00	t部24テム
			0K	*YOUR

「同期項目のプロパティ」ウインドウが閉じて、設定したフィルタが表示され ます。

観読方法 金崎 同時の方式	AM2591-6 2443
200 FBTM17459	06847-
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	場合など、チェック内回転に特徴的な市市場合 19月時時期にはオニン・セアチョッグ
THE PARTY AND A PA	A TRAVELLA A PROPERTY OF MARK
	CONTRACTOR CONTRACTOR DE LA CONTRACTOR DE L
2 3-01598歳を使用する アイデム	2:69
 フィージを始めた使用する アイテム デエ表 アドレス場 	24.8/2 6L ELEI45 #E2044.54

Memo

フィルタを解除したいときは、「同期項目のプロパティ」ウインドウで[すべてのアイ テムを同期する]を選択してください。

.....

.....

Memo Outlookアイテムのフィルタ設定時の削除の動きについて フィルタは、同期の対象にしたいアイテムの作成または更新日時を限定するため の条件です。 そのため、アイテムを削除した場合、削除した日ではなく、アイテムを作成または 更新した日付によって、削除する / しないを判断します。 下図は、「こちら」から「あちら」へ、「削除する」同期を実行したときの例です。 同期項目(こちら) 削除 В フィルタ 削除 С X 「削除する」同期を実行 削除しない---А 同期対象外なので、 削除した日時に関係なく В フィルタ 削除されません。 <u>削除する</u> X 同期対象なので、 C 削除されます。 同期項目(あちら)

5-6 ストレージデータのインポート/エクスポート

ストレージに入りきらないような大きなデータを同期したいとき(初回の同期 時などに発生することが考えられます。)は、データをハードディスクなどにエク スポートし、ストレージによる移動以外の方法(例えばメールなど)でデータを移 動することができます。

以下の図は、インポート/エクスポート機能とメールを利用した場合の同期 の流れです。

[1台目のコンピュータ]



同期を実行する (HDをストレージとする) 1台目でのエクスポートの操作

- 1 設定ウィザードで、1台目のコンピュータのストレージをハードディスクに設定します。 設定ウィザードの操作については、「第3章 設定ウィザード(P13)」をご参照ください。
- 同期を実行します。
 同期実行の操作については、「4-5 同期の実行(P46)」をご参照ください。
- 3 エクスポートを実行します。 メニューの[ツール] [ストレージデータのインポート/エクスポート]の順に 選択します。 インポート/エクスポートウィザードが表示されます。
- 4 インポート/エクスポートウィザードで、「エクスポートする」を選択して、 [次へ]ボタンをクリックします。



5 次のように画面が切り替わります。 エクスポート先のフォルダを指定し、[次へ]ボタンをクリックします。 [参照]ボタンをクリックすると、「エクスポート先ファイルを選択」ウインド ウが表示されます。 フォルダ名をキー入力することもできます。 フォルダ名をキー入力するときは、ドライブ名からのフルパスを正しく入力

してください。

Ņ	pancing	 - ファイルを設定します。

6 メッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。



7 次のように画面が切り替わります。 エクスポートが完了したら、[完了]ボタンをクリックしてください。



8 エクスポートしたファイル(操作**5**でファイル名を変更していない場合は、 「ACCUSYNC.saf」)をメールなどで2台目のコンピュータへ送信します。

2台目のコンピュータでのインポートの操作

- **1** 1台目のコンピュータからメールで送ったエクスポートファイルを、受信します。
- 2 ACCUSYNC ストレージを起動し、メニューの[ツール] [ストレージデー タのインポート/エクスポート]の順に選択します。 インポート/エクスポートウィザードが表示されます。
- **3** インポート/エクスポートウィザードで、「インポートする」を選択し、 [次へ] ボタンをクリックします。



4 次のような画面が表示されます。 インポートデータ(エクスポートファイル)を指定し、[次へ]ボタンをクリックします。

[参照]ボタンをクリックすると、「エクスポート先ファイルを選択」 ウインド ウが表示されます。

フォルダ名をキー入力することもできます。

フォルダ名をキー入力するときは、ドライブ名からのフルパスを正しく入力してください。



5 次のような画面が表示されます。 インポートしたいストレージ(ボリューム)を選択し、[次へ]ボタンをクリック します。



68

6 メッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。



7 次のような画面が表示されます。 [完了]ボタンをクリックします。


8 ストレージが操作**5**でインポートしたストレージ(ボリューム)になっている ことを確認して、同期を実行します。



インポートしたストレージになっていないときは、メニューの[ツール] [登録したストレージの選択]の順に選択し、インポートしたストレージ(ボ リューム)を変更してから、同期を実行してください。

ACCUSYND	×
創作するとしージス、最下の約24-445見のかりました。 創作するとしージス、最下の約24-445見のかりました。	
(#)/a=4, 35(℃)≠ FD (A)	
HD 953	選択して、 [OK]ボタンを
or ++:/t	7J97689

5-7 コンパクトモード

ACCUSYNC ストレージはコンパクトモードで表示することができます。コン パクトモードでの操作はそれぞれ次の図のとおりです。



チェックまたは同期のルールで、チェック/同期 を行います。

5-8 オンラインアップデート

ACCUSYNC ストレージには、プログラムの機能追加や問題解消のための オンラインアップデート(インターネットを利用したプログラム自動更新)機能が 搭載されています。 ACCUSYNC ストレージを最良の状態でご利用いただくために、ぜひご活用く ださい。

1 オンラインアップデートの設定

オンラインアップデートの設定は、ACCUSYNC ストレージのインストール 時に設定済みです。設定内容を変更したいときに以下の操作を行ってください。

- **1** メニューバーの[ヘルプ] [オンラインアップデート設定]の順に選択します。
- 2 「MEGASOFTオンラインアップデート」ウインドウで、「定期的に自動チェックする[推奨]」を選択し、自動チェックの間隔をリストから選択してください。 または、「自動チェックしない」を選択してください。



てください。 SHEROFT KIND TRATER 1 1/シーネートへの要請方法を運動してくだれ、。 推載方法の掛け # 1823年末は主文法のローラと同じ設定を使用する(1)[11世] (2-2-2-2-2-2) (2-2-2-2) こ ダイヤルアップ植植を激怒する(2) T + 「 プロキシサーバを使用する(の) 791-21 #-++ <u>H908</u> BOUR AND 設定ができたら、クリックして 元の画面に戻ります。 _____

3 必要があれば、「接続方法設定」ボタンをクリックして、接続の方法を設定し

4 「MEGASOFTオンラインアップデート」ウインドウで、[設定]ボタンをクリックします。

キャンティンテム キャンティン 400,5%400 を通信して(22)	10.55-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-	には く/フィフテー1
MARINE .	REA	- 89(R.Q)

2 オンラインアップデートの操作

1 「MEGASOFTオンラインアップデート」の設定で、「定期的に自動チェックする」を設定した場合は、該当する日にACCUSYNC ストレージを起動すると自動的にオンラインアップデートが実行されます。

「自動チェックしない」を設定した場合は、ACCUSYNC ストレージのメイ ンウインドウで、メニューの[ヘルプ] [オンラインアップデート]の順に選択 することで、オンラインアップデートが実行されます。

次の画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。



2 各画面で画面に画面の説明にそってアップデートを進めてください。 最後の画面では[閉じる]ボタンをクリックしてください。



ファイル名とサイズは、 この限りではありません。

74





Memo :



索引

A-Z
「ACCUSYNC」フォルダ
フィルタ設定時の削除の動き
<i>b</i>
相手のコンピュータ アイテム2 あちらから41,47
アドレス帳(Microsoft Outlook)
61
ー時的に同期項目から はずす / もどす4! インポート64,61
5
ウインドウ操作ボタン10
え
エクスポート64,65
ສ
お気に入り
か
各部名称1(
ter en
起動

ĩ
項目
5
再設定15 削除(チェック)43 削除と方向の設定42 削除の設定40
L
「次回同期するアイテム」ウインドウ10,38 仕事(Microsoft Outlook)36 実行46 自動チェック間隔6 自動同期57 終了11
ндлэлд
。 「ステータス」ウインドウ10 ストレージ11 ストレージドライブの準備8 ストレージ内のフォルダ27,33 ストレージ内のデータについて38
ť
設定13,51 設定ウィザード-1台目14 設定ウィザード-2台目19 セットアップ4 [全般]タブ52

そ

付 録

付録

双方向	41,47	
た		
対応するストレージ 対応するデータ タイトルバー	2 	
ち		
チェック チェック結果アイテムごとの設定? 中止	43 変更44 49	
τ		
定期的な同期スケジュール		
ک		
同期項目の削除	39 22 22 57 21 46 40 10 47 47 41,47 56 2 11	
名前の変史		
に		

任意のフォルダ25
lt
初めて行う同期について48
ı آر
フィルタ61 フォルダの削除27,33 フォルダの削除について45 フォルダの名前変更27,33 復元50
ŧ
マイドキュメントフォルダ23
む
矛盾(チェック)43
ø
[メインボタン]ウインドウ10 メール(Microsoft Outlook)
Б
ライセンスキー5
3
ログ55 [ログ]ウインドウ10 ログファイル55

ACCUSYNC ストレージ ユーザーズマニュアル

2003年10月10日初版発行 2004年4月1日第2版発行

製 作:メガソフト株式会社 発行者:メガソフト株式会社 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町 1-38 西谷東急ビル TEL:06-6386-6046 FAX:06-6386-9983 著作権:Copyrightc 2002-2004 MEGASOFT Inc.

本製品のプログラムおよびマニュアルの転写、転載を禁止します。

本製品の内容は、予告なしに変更することがあります。

ACCUSYNC、アキュシンクはメガソフト株式会社の登録商標です。

Windows、WindowsNTはMicrosoft Corporationの登録商標です。